

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ドダイ		
○保護者評価実施期間	R8年 5月 25日		～ R8年 6月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	R8年 5月 25日		～ R8年 6月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 5月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思う。	小人数での支援なので、活動スペースは個別での対応ができるほどあり、対応している。	個別で活動や、小集団での活動がのびのびと出来るように、支援をより尽力していく。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫していると思う。	なるべく支援内容が同じにならないよう、色々な体験ができるように支援者間で話をしながら支援している。	家庭や園では経験できなさそうなこと、体験して成長できそうなことをピックアップして、ストックしている。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信している。	月1回～Instagramにて活動を載せたり、利用日の様子は連絡帳やLINEにて写真付きで送り、やり取りをしている。	評価表の結果もホームページに掲載すること、行事予定表だけでなく、月ごとに行事予定をLINEにて発信していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援はしていない。 きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援をしていない。	父母の会というものがない。 保護者の方が就労の為、時間がないので、きょうだいの交流会も開催が難しい。	保護者交流会にて、「きょうだい児交流会」についての議題を上げる。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	保護者交流会を開催しているが、児童発達支援の利用がない時期の開催だったので存在を知られていない。	保護者の方の就労があるので、開催日を早めに知らせて集まって話ができるような場を提供できるようにする。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	課外活動では同じ空間で遊んだりと少しの関わりはあるが、しっかりとした交流は特性を考えると難しい。	ドダイへ来ていただいて一緒に過ごしたり、イベントを開催し地域の型への参加を呼び掛けていく。